

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

- ・渋谷区という都心にある保育園だが、散歩に出ると代々木公園など自然に触れられる公園が多くあり、子どもたちは季節毎に身近な自然に触れて興味関心を深めている
- ・様々な事への探求心が深く、活動への興味を持って意欲的に関わる姿が多く見られる

2. 活動スケジュール

春 散策を楽しみながら身近な植物に触れて楽しむ

夏 夏野菜を育て観察しながら成長の様子に興味を持つ
遊びを通して風の動きや変化に興味を持って遊ぶ

秋 身近な自然物に触れて遊び込む

冬 講師を招いてこれまでの活動を深めながら自然に触れたり、探求を深めていく

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・マッチ・新聞紙・包丁・まな板・食材（ウインナー、パプリカ、ピーマン、チーズ、コーン、ピザソース）・ドラム缶（窯用）

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・丸めた新聞紙にマッチで火をつけ、新聞紙を燃やす練習をする。
- ・包丁で食材（パプリカ、ソーセージ、ピーマン）を切る。
- ・2歳児クラスは講師の先生が生地作りをする。幼児組は自分たちで生地作りをする。
- ・伸ばした生地に好きな食材をトッピングする。
- ・ドラム缶の窯でピザを焼く。
- ・焼けたピザを順番に食べる。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

・マッチでの火付けの時は「火がついた」「暖かいね」等火がついたことを喜ぶ。包丁は保育者に手を添えてもらいながらも自分からやってみようとする姿が見られた。ドラム缶窯でピザを焼く時はや蹴る様子を興味津々で見ながら、いざ焼きあがると嬉しそうな表情を見せ、自分の焼けたピザを美味しそうに食べる。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

とても寒い日になったが、子どもたちはマッチで新聞紙で火をつけたり、包丁で食材を切ったりする経験が出来たことは良かった。